

レジャーダイビング認定カード普及協議会  
(Cカード協議会)

2015年4月定例会議事録

- ◎ 開催期日：2015年4月16日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆DACs	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	和泉	芳則
☆オブザーバー	JRDA	有原	義則
	DANジャパン	小島	朗子
	静岡県ダイバーズ協議会	渡辺	守
		我妻	亨
	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

- ① 安全実施要項とレジャーダイビングアンケートの周知に関し、現場での実績評価結果を、6月第1回「レジャーダイビング事故ゼロ推進委員会」の主議題とすることについて。
  - JRDA 有原氏より 2015年6月に第1回「レジャーダイビング事故ゼロ推進委員会」を開催する旨の報告があり、合わせて安全対策に関する実績評価を行う必要性について説明があった。
  - これに対し、静岡県ダイバーズ協議会から、現場の実態について以下の通り説明があり、早急の対策を講じる必要性について報告があった。
    - ・ 現場にメリットが無ければ本安全対策が訴求しない
    - ・ まったく同質の安全対策が既に保安庁主導で行われており、当該保安庁の安全対策を実行している店舗にとって JRDA の安全対策は二度手間である。
  - 静岡県ダイバーズ協議会からの懸案に対し、実態を掌握するため、保安庁主導の安全対策資料を静岡県ダイバーズ協議会がC協宛に提出し、C協会員はこれを各々検証し、次回定例会において対策を話し合うことになった。
- ② 今までのダイビング事故分析（野澤レポート）による傾向を検証し、対策を検討することについて。
  - 本件については、次回定例会に持ち越しとなった。

以上